

# News Release

2020年3月26日

N I T E ( ナ イ ト )

独立行政法人製品評価技術基盤機構

北海道支所

## ついうっかりでガス漏れ・引火の事故が！ ～ガス栓の接続を点検しましょう～

### 1. 事故の発生状況

2009年度から2018年度の10年間にNITE（ナイト）に通知された製品事故情報<sup>※1</sup>のうち、ガス供給器具（ガス栓、ソケット及びゴム管・ガスコード等）の事故は、北海道で合計20件<sup>※2</sup>ありました。そのうち、使用者の不注意による事故が10件（50%）を占めています。

#### (1) 年度別事故発生件数

年度別事故発生件数を表1に示します。

表1 年度別事故発生件数（2009～2018年度）

発生年度	合計
2009年度	1
2010年度	5
2011年度	1
2012年度	1
2013年度	2
2014年度	5
2015年度	1
2016年度	1
2017年度	0
2018年度	3
合 計	20

(2) 被害状況別事故発生件数

被害状況別事故発生件数を表 2 に示します。

表 2 被害状況別事故発生件数 (2009～2018 年度) ※3

被害状況		合計
人的被害	死亡	0
	重傷	0
	軽傷	1
物的被害	拡大被害	9
	製品破損	9
被害なし		1
合 計		20

(※1) 消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含める。

(※2) 重複、対象外情報を除いた事故発生件数。

(※3) 人的被害と物的被害が同時に発生している場合は、人的被害の最も重篤な分類でカウントし、物的被害には重複カウントしない。製品本体のみの被害（製品破損）に留まらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としている。

2. 主な事故事例

(1) ガス栓（LPガス用）

○2013年7月（北海道、20歳代・女性、使用期間約12年、拡大被害）

事故内容：ガス栓に接続されたガスこんろを点火したところ、ガス栓及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因：二口ガス栓の未使用栓を誤って「開」にしたまま、ガスこんろの点火操作をしたため、漏れたガスに引火し、火災に至ったものと推定される。

(2) ゴム管用ソケット

○2014年8月（北海道、60歳代・女性、使用期間約17年、拡大被害）

事故内容：清掃のため、取り外していたソケットを再度、接続してガスこんろを使用したところ、ソケット及び周辺を焼損する火災が発生した。

事故原因：ソケットとガス栓の接続が不完全な状態でガスこんろを使用したため、接続部から漏れたガスにガスこんろの火が引火し、火災に至ったものと推定される。

なお、取扱説明書には、「ガス栓とソケットの接続は、“カチッ”と音がすることを確認する。」旨、記載されている。

### 3. ガス供給器具の事故を防ぐためのポイント

- ①ソケットは、ゴミなどが付着していないことを確認し、カチッという音がするまでしっかりと差し込む。
- ②ゴム管が湾曲しないよう、ゴム管の長さでソケットの形状が適切なものを選ぶ。
- ③使用していないガス栓にはガス栓カバーなどを取付ける。
- ④ゴム管・ガスコードは、ガス機器など燃焼機器の下や排気口の前や上を通さない。

### 4. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構+NITEのロゴ」としてください。

#### (本件に関する問い合わせ先)

〒060-0808 北海道札幌市北区北八条西2丁目

札幌第1合同庁舎 4階

独立行政法人製品評価技術基盤機構 北海道支所

担当者:大井、鈴木、下川

電 話:011-709-2324